

開発建設部



1



1 序

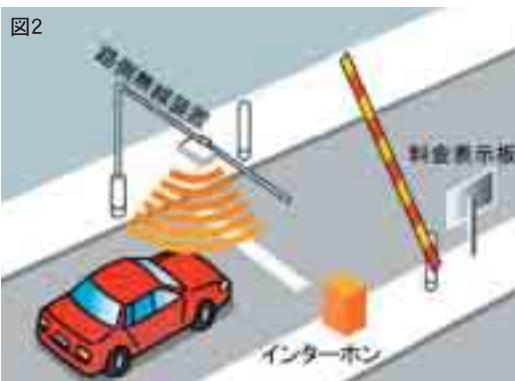


図2

喜舎場スマートICは、沖縄自動車道喜舎場バスストップを活用したETC専用のインター
チエンジです。

この結果、高速道路の通過地域だった箇所にスマートＩＣを設置することで、既存の高速道路を利活用することが容易になり、民間の物流拠点誘致など地域活性化に寄与することが期待されます。

Point

平成18年11月から平成19年3月まで社会実験を行つております
喜舎場スマートーゴ、平成19年10月27日(土)から供用を開始

喜舎場スマートIC 供用開始

2. スマートICとは
簡単に言うと、既存のパーク
ングエリアや高速バスストップ
などをアクセス道路となる一般
道と結んだETC専用の簡易な
インターチェンジのことです。

2. スマートICとは

3. 社会実験の結果

① 利用台数について

実験期間中の利用台数については、平均で平日600台、休日350台がありました。この結果は、他のスマートICとの比較で1ランプ、1時間当たりの利用台数は全国3位という結果となり、当該ICの利用者ニーズの高さが窺えました（図3、4）。

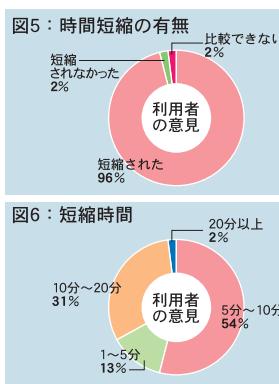
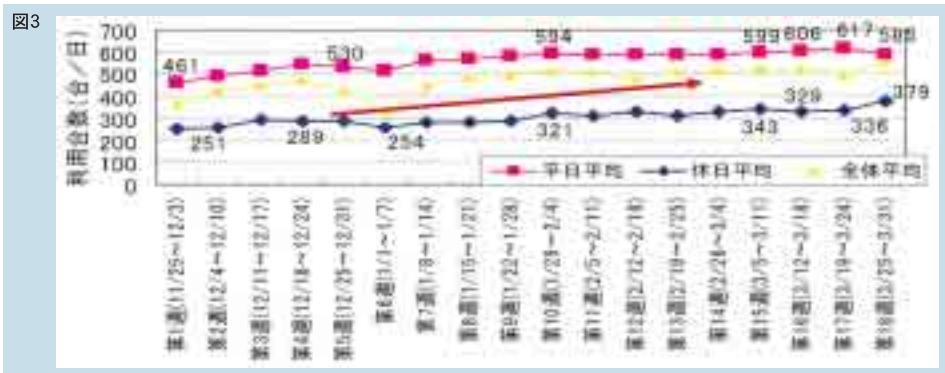


図5：時間短縮の有無

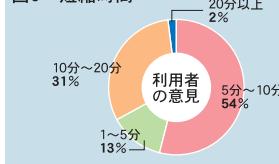


図6：短縮時間

- ② 整備効果について
- 効果1・那覇方面へのアクセス時間が短縮されます。
 - ・スマートIC利用者の96%が時間短縮を実感（図5）
 - ・走行調査では北中城村役場（北中城ICまで約2分30秒短縮）（図7）

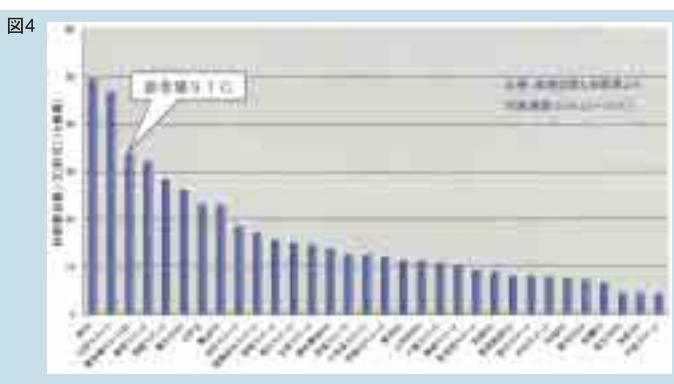
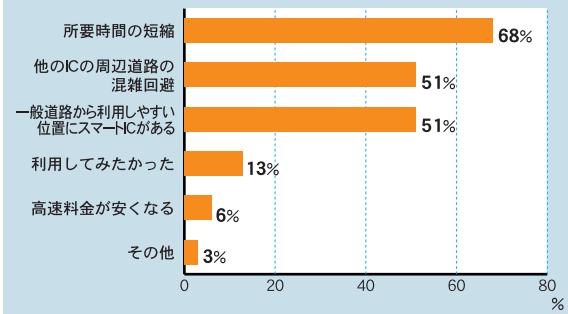


図8 スマートICを利用した理由



- 効果2・北中城IC周辺道路の渋滞からの回避、一般道の混雑が緩和されます。
- 利用者アンケートの結果「所要時間の短縮・68%」、「他のICの周辺道路の混雑回避・51%」の割合が多く、当該ICが周辺道路の円滑化に寄与（図8）。



- 効果3・高速道路の活用の幅が広がります。

喜舎場スマートICが設置されたことにより、66%の人が高速道路の利用機会が変化すると感じています（図9）

4. 今後のスマートIC
- 本スマートICは、社会実験の結果から採算性及び道路利用者ニーズの高さと、当該地周辺の交通円滑化への寄与が確認され、本格運用へ移行することが決定されました。
- 供用開始しました10月27日（土）からは、社会実験時と比べ運用時間を午前6時から午後10時と2時間延長し、サービスの向上に努めています。
- 皆様、是非ご利用ください。

